

2022年度（第106回）日本アマチュアゴルフ選手権競技

第1ラウンドを終えて（6月28日火）

広島カンツリー倶楽部 八本松コース

日本アマチュアゴルフ選手権第1ラウンドが28日、広島カンツリー倶楽部八本松コース(7, 229ヤード パー72)で行われ、福住修（スカイ・ベイGC）がイーブンパー72で30位タイ、田村軍馬（久万CC）は2オーバーパー74で51位タイ、寄田聖悟（日本パブリック協会）は5オーバーパー77で102位タイだった。なお、36ホール終了時点で60位タイまでの選手が第3ラウンドに進むことが出来る。

田村軍馬（久万CC） 74（+2） 51位タイ

「ショットが今年一番あれて、ラフに曲げて、フェアウェイキープ、パーオンがかみ合わなかった。ショットが右に行っていたので、後半(アウト)から左に打ち出すようにしてからバーディチャンスにつくようになった。5.7番ホールでバーディを獲れていい感じだった。



(スコアを)ゼロに戻したかったんですけど、最後(NO.9)はボギーにしてしまった。それでも明日につながると思います。日本アマには初めて出場して、やはり特別な雰囲気緊張もしましたが、いい経験になっていると思います。ラフが長いので、フェアウェイキープして、上位に行きたい」

寄田聖悟（スカイベイGC） 77(+5)

102位タイ

「パー5全部でダメだった。ティーショットが曲がって、ラフに入って、またそこからミスして…。今日は元々フェードボールなのですが、それが逆球のドロボールになって…。突然。なんで今日？と。明日はアンダーパーで回りたい」



福住 修（スカイベイGC） 72(±0) 30位タイ

福住は前半が1バーディ、3ボギーと伸び悩んだが、後半に入ると3バーディ、1ボギーと巻き返し、イーブンパーでホールアウトした。「ボギーが多かった。ロングパットで寄らなくて3パットしたのが3回。そこが良くなかった」とパッティングの距離感、タッチを課題に挙げた。ショットは「ティーショットを曲げて木の裏に行ったのが2回」以外は安定している。「目標は優勝。明日は爆発したい」と奮起を誓った。